

2019年5月24日（金）

## 「南平岸」最後の放送 特別クロージングが ドイツ「ワールドメディアフェスティバル」で銀賞受賞

HTB 北海道テレビ（HTB）で2018年9月に放送した特別クロージング\*「南平岸最後の放送～50年間の感謝と別れの想いをこめて…」（英語字幕版）が、5月14日にドイツ・ハンブルグで開かれたテレビ番組および産業映像作品の国際コンクール\*\*「ワールドメディアフェスティバル 2019」でニュース部門（ステーション/ネットワーク ID）の銀賞を受賞しました。

「ワールドメディアフェスティバル 2019」には、世界34カ国から789作品が参加し、HTBは日本の民放局として唯一受賞しました。HTBの「ワールドメディアフェスティバル」での受賞は、2008年に開局40周年記念スペシャルドラマとして制作した「歓喜の歌」（2008年9月7日全国放送）がエンターテインメント部門金賞を受賞して以来2度目となります。

今回受賞した特別クロージングは、旧本社から最後となる2018年9月16日の放送終了時に放送した「特別版コールサイン」です。1968年11月3日の開局以来50年間にわたって放送した番組や事業、地域活動を、通称「南平岸」と呼ばれた旧本社の地元、豊平区の歴史と共に豊富なアーカイブ映像で振り返り、地域の視聴者へ「ありがとう」という感謝のメッセージを伝えました。

制作にあたった平尾由佳子ディレクターは、ハンブルグで行われた授賞式のスピーチで「このクロージングは、開局から50年間積み重ねてきた映像に感謝と別れの思いを込めた、HTBから地域の人たちへ宛てた50年分のラブレターです。地域への愛情が国境を越えて、普遍的なものとして評価していただいたことに大きな意味があると思います」と受賞の喜びを述べました。

HTBでは受賞を記念して、自社のVODサービス「HTB 北海道 on デマンド」で5月27日（月）午前10時から特別クロージング（英語字幕版）を無料配信いたします。HTBでは今後も地域に根差した良質な放送とコンテンツの提供に努めてまいります。

受賞作「南平岸最後の放送～50年間の感謝と別れの想いをこめて～」

（英語タイトル：The Last Broadcast - Farewell to Minami-Hiragishi with Our 50 Years' Gratitude）

放送：2018年9月16日（日）26：25～26：29 （北海道ローカル）

制作ディレクター：平尾由佳子（HTB）

\*総務省令により放送局が放送局名との固有のコールサイン（HTBはJOHH-DTV）を放送するプログラムのこと。一般的には、数十秒から1分程度で放送されている。

\*\*2000年にドイツの映像配給会社が設立した国際映像コンクール。テレビ番組をはじめ、広告や企業広報などの産業映像作品、ウェブサイトなど様々なジャンルのコンテンツが、作品性の高さを競うヨーロッパ最大規模の映像コンペティションとして国際的にも高い評価を受けている。